

## データキャリアの導入事例

本質安全防爆型のはかりとデータキャリアの導入事例を紹介します。

さて、データキャリアはそれ1台で、最大4台のはかりと、配線いらずで通信可能というメリットがあります。今回は、このメリットを活かし、はかり2台とデータキャリア1台を導入された関西の化学メーカー様の事例を紹介します。

こちらのユーザー様においては、小ロット多品種の製品の仕込みと出荷に多数のはかりをお使いです。



配合タンクが多数各所に配置されているため、設置するはかりのロケーションも多様です。

一方、品質管理の要請から、計量記録を「手書き」ではなくプリンタ印字にて管理されているため、各所のはかり（防爆危険場所）とプリンタ（安全場所）とを通信ケーブルで結ぶご苦労がありました。



有線接続の場合、その設置や変更の際には、所轄消防署の厳しい指導監督を受けます。特に、こちらのユーザー様では、計量現場が1階で、プリンタがある管理室が2階にあり、通信ケーブルの引き込みが大変です。また有線接続の場合、はかりとプリンタは1対1の対応のため、プリンタの数も多くなります。

今回、このユーザー様では、2台のはかり（ドラム缶用、20ℓ缶用）と1台のデータキャリアを導入いただくことで、配線いらずで、プリンタも1台で済む…トータルコストの低減に成功されました。

以上、データキャリアの導入事例の一端をご紹介しました。

※本質安全防爆型台はかりについて詳しくはこちらをご参照ください。

<https://scale.kubota.co.jp/products/kl-is.html>